

たましま協同病院だより

玉島協同病院

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

<http://www.tamakyo.com/>

発行責任者 青木弘人

〔病院理念〕玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います



講義をする進藤院長

心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。今、心不全を発症する患者さんが右肩上がりに多くなっています。大切なことのひとつは、心不全を発症させないことです。健康であることはもちろん、高血圧や糖尿病、腎臓病など心不全を発症してしまいうリスクの高い疾患をしっかりと安定させることが大切です。

そこで、当院に高血圧や糖尿病などで通院している患者さんやそのご家族を対象に、「心不全教室」を開催しました。当日は50名の参加がありました。内容は「進藤医師の講演／心臓とは？心不全とは？」「伊藤理学療法士の講演／正しい血圧の測り方」「心不全〇×クイズ」「専門職による質問コーナー」と、楽しく心不全について学んでもらうものとなりました。進藤医師の講演では、ニワトリの心臓をその場で解剖して心臓の構造を見てもらったり、伊藤理学療法士の講演では、実際に血圧を測定してもらったり、〇×クイズでは、みなさんでワイワイ言いながらおこない、とても楽しく開催できました。アンケートでも満足度が高く、また開催してもらいたいという意見を複数いただきました。

今後も、地域のみなさまの健康維持の取り組みを企画していきたいと思っています。

(心不全チーム)

八谷 直博



心不全教室開催

楽しく学んで健康づくり♪



Follow Us!

玉島協同病院
公式Instagram

@tamashima_kyoudou



盛り上がった〇×クイズ



ニワトリの心臓を使った解剖実験

医師のご紹介

 たけだ りき
竹田 力 医師


6月より玉島協同病院へ内科非常勤で勤務しております。竹田 力と申します。岡山市や倉敷市中心部での勤務経験はありますが、玉島地区は初めてです。当院へ赴任して感じたことは、「地域に寄り添い、患者に寄り添う」病院であるということです。これからますますの高齢化が予想されるなか、「患者も地域も診る」ことが重要になってくるはず。当院の素晴らしい先生方を見習いながら、地域の皆様に貢献できたらと存じます。

趣味はサイクリングとフットサルです。毎日新倉敷駅から往復10km以上、自転車で通っています。若輩者ですが、尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

2025年度 医療安全標語 安心安全な医療を目指して

医療事故を防ぐことを目的として活動している医療安全委員会では、毎年院内全ての部署に医療安全に関する標語の作成をお願いしています。今年も様々な標語が出来上がりましたので、ご紹介します。

医局：朝礼時 みんなで医療安全情報確認

薬局：なんか変？ その違和感を 大切に

検査室：患者さん ふれる前後に 手指消毒

放射線科：名前・生年月日よし！ 正しく照合ミスゼロへ

リハビリ係：訓練前 カルテ確認 忘れずに

栄養係：その一手 止まって確認 ミスゼロへ

事務課：声あげよう 小さな気付きが 事故減らす

地域医療ケアサポートセンター：「ヒヤリ」「ハット」視点を変えれば Goodjob / 「うっかり」を見逃さないで 報告を

居宅介護支援事業所：ケアマネは 運転中も おもいやり

外来：過信しない 気になる時は 再確認

1病棟：事故ゼロで 終えた1日 足軽い

2病棟：日常の 慣れた業務に 事故潜む

通所リハビリテーション：手を止めて 基本に戻って 利用者第一！

透析室：慣れた業務に潜むわな 油断禁物 正しい照合！

医療安全委員会 柳瀬 佳奈

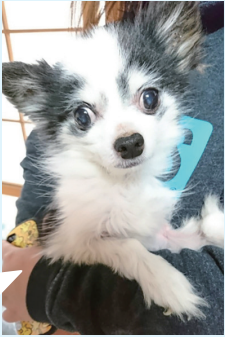


シリーズ透析室⑨

我が家のペット ～ワンちゃん編～



患者Tさんちのコロちゃんです。スーパーの段ボール出身、島根育ちの16歳のおばあちゃん犬です。



スタッフOさんの実家のルーク君。お父さんが大事に大事に育てました。



スタッフNさんちのチョコ君。スイカとイチゴが大好きです！毎朝のヨーグルトは欠かせないグルメわんこです。



透析室の今回の特集は『我が家のペット』です。スタッフや患者さんのかわいいペットを紹介します。今後はメダカやクワガタが登場する予定です。

ペットの話題で話が弾み、透析室は今日もにぎやかです。
(透析室看護師 丸野 由紀)

私は療養病棟で退院支援リンクナース2年目の看護師です。退院支援リンクナースとは、主治医や担当看護師・介護士、地域連携室のスタッフ、リハビリスタッフ等と連携しながら退院前の問題点を明確化し患者さんが安心して退院できるように支援する看護師のことをいいます。

今回は3日間、富田グループの共生型看護小規模多機能ホーム「桃の鈴花」での研修に参加しました。こちらの施設は、医療的なケアが必要な方や、介護度が高く在宅生活が困難な方が利用できる施設で、吸引・24時間持続点滴・インスリン注射・腹膜透析が必要な方も利用ができます。研修を通して施設が病棟看護師へ求める事として「入院中のケアや患者さんの思い」「具体的な医療処置」「困っていることは遠慮せずに教えて欲しい」というスタッフの生の声に少し驚きを感じましたが、病院との連携を通して対処法を考え、患者さんが安全に過ごせるよう検討するスタッフの姿に、安心して退院後の暮らしをお任せできると感じました。患者さんが安心してスムーズに退院できるよう、今後も介護施設との連携が重要だと改めて感じました。

(1病棟看護師 柿本 順子)

当院では人材育成・顔の見える連携を目的に、病院と介護施設間での交換研修を昨年からは行っています。今年も地域の介護事業所にご協力いただき、当院から4名の看護師が参加をしましたので、シリーズで感想をご紹介します。

富田グループ交換研修報告④

安心して退院していただくために



玉島協同病院は今後も部屋代はいただきません／カルテを開示しています

加集万里子のお料理教室 シリーズ200

えのき茸のつくだ煮



食物せんいたっぷり、安定した価格のえのき茸を使ってつくだ煮にしました。ご飯のお供になります。

材 料 (えのき茸2袋を使って)

- えのき茸 (大袋) 2袋
- めんつゆ (ストレート) 大さじ4
- 砂糖 大さじ1
- 清潔な保存ビン 1つ

作り方

- えのき茸を1.5cm位に切り、すぐに鍋かフライパンに入れ、めんつゆと砂糖を加えて中火にかける。
- 水分が少し減ってへらの道ができたら、火を止め自然に冷ます。
- 清潔な空き瓶に入れ冷蔵庫で保存する。

豆腐やご飯にのせたり、麺類のたれや卵焼きに混ぜてもおいしいです。



1病棟レクリエーション

七夕の願いを演奏に込めて



1病棟 (療養病棟)で七夕のレクリエーションを行いました。織り姫と彦星の衣装を身にまとい、職員が登場。この日のためにカーテンの余った生地で作りました。ハーモニカと笛を使って、七夕の定番曲を演奏しました。どこか懐かしいメロディに、入院患者さんも聴き入ってくださっていました。1病棟では、入院中の患者さんに少しでも四季を感じていただけるよう、今後もレクリエーションを企画していく予定です。(1病棟)

